

春季火災予防運動

2月28日～3月13日

中統一スローガン

「その火、その時、すぐ始末！」

「燃やすまい、水のふるさと、緑の資源」
(林野火災防止)

「防ごう、なくそう、車両・船舶火災」
(車両船舶火災防止)

その火 その時

すぐ始末!

二月二十八日から三月十三日までは、「春季火災予防運動」の期間です。
この運動は、「火災の発生しやすいこの時季をとらえ、火災予防思想の一層の普及を図り火災による死傷事故や財産の損失を防ぐこと」を目的としています。

(重点目標)

- ・高齢者等の災害弱者を中心とした死傷防止対策を徹底する。
- ・家庭と地域の防火対策の推進。
- ・特定防火対象物の防火安全確保。
- ・防災機器の普及を推進する。
- ・異常乾燥時及び強風時の火災発生防止対策を推進する。
- ・山林火災防止対策を推進する。
- ・車両火災防止対策を推進する。

(実施する行事)

↓消防訓練

- ・病院総合訓練―自力避難が困難な患者の入院する病院を対象に消防署・消防団による総合訓練を実施する。(三月七日・新富士病院)
- ・消防団非常召集訓練(二月二十

八日・市役所駐車場)

↓防火診断

- ・住宅の防火診断。
- ・寝たきり老人家庭の防火診断。

↓旅館・ホテル等の防火管理体制の指導

- ・夜間防火管理体制の整備、避難通報体制について検証指導する。

↓防災機器の普及推進

- ・消火器・簡易型火災警報器、ガス漏れ警報器等の一般家庭用防災機器・物品の普及推進を図る。

↓林野火災防止対策

- ・山火事予防思想の普及を図るため、愛鷹山登山道及び須津山荘に標識を設置し、入山者用の携行タバコ吸い殻入を配置する。

↓幼年消防クラブ防火パレード

- ・子供たちの防火思想を高揚するため、幼年消防クラブ員等による防火パレードと映画会を実施する。

↓防火作文の表彰

- ・市内小中学生の防火作文を審査し表彰する(三月四日、市役所)

* 火災発生状況表 *

	昭和62年1月～12月		昭和63年1月～12月	
総火災件数	113件		137件	
火災種別件数	建物火災	70件	建物火災	66件
	林野火災	0	林野火災	1
	車両火災	7	車両火災	15
	その他の火災	36	その他の火災	55
死傷者	死者 5人 傷者 16人	死者 7人 傷者 14人		
損害額	337,124千円		262,483千円	

↓自衛消防隊ポンプ車操法大会
(三月五日・市役所駐車場)外



春季火災予防運動

2月28日～3月13日

富士市消防本部・富士市防火協会

△防火ポスター市長賞
(富士第一小、1年 小笠原康弘)

